

6月議会日程

月 日	会議名	会議室名	備考
6月 9日 (水)	本会議	議場	提案説明、総括質疑
6月10日 (木)	厚生委員会	第1委員会室	平良木議員担当
6月11日 (金)	建設企業委員会	第1委員会室	樋口議員担当
6月14日 (月)	文教経済委員会	第1委員会室	上野議員担当
6月15日 (火)	総務委員会	第1委員会室	橋爪議員担当
6月16日 (水)	本会議	議場	一般質問
6月17日 (木)	本会議	議場	一般質問
6月18日 (金)	本会議	議場	一般質問
6月21日 (月)	本会議	議場	一般質問
6月22日 (火)	本会議	議場	一般質問
6月24日 (木)	本会議	議場	討論、採決など

3セク設立時期についてはノーコメント 県単独を前提に検討中 5/31 新幹線・並行在来線対策特別委員会

5月26日の新聞報道「北陸新幹線開業に伴ってJRから分離される並行在来線の運営主体となる第3セクターの設立に1億5千万円」との記事を受け、新幹線・在来線対策特別委員会が緊急に開かれました。

竹田淳三総合政策部長の並行在来線に関するこれまでの取り組み等の説明の後、委員の質問が相次ぎました。

しかし、肝心の3セク設立については「今は何も言えない」とし、答弁しませんでした。ところが、翌6月1日にはこの3セク設立の予算が議案として提出されま

した。一方、「3セク設立を急ぐのは、脇野田駅周辺の信越線移設の工事のためなのか」との質問に「第3セクターが設立されたとしても移設が進むということではない。移設は3セクとは別にJRにしていたことがベストだ」と答弁しました。

また、平良木哲也副委員長の「第3セクター設立に関しては、現在富山県長野県とも協力体制を協議している最中なのに、なぜ今新潟県のみ単独設立を前提にしているのか」との質問には、まともな説明はありませんでした。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.236 2010年6月6日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木哲也 525-9096 (上中田)



直江津駅にて

議会基本条例制定で 議会はどう変わるのか！ ・・・市民から多くの注文、質問・・・



上越市市民プラザにて

上越市議会議会基本条例策定検討委員会(内山米六委員長)による議会基本条例の説明会が春日謙信交流館、頸城区の希望館など市内4か所で開催されました。

説明会では多くの質問、要望が出され、熱心な意見交換が行われました。その中から主だったものをいくつか紹介します。

まず、**条例の策定方法、市民への説明の仕方**に対する質問、注文です。

「なぜいま、議会基本条例を制

定しようとしているのかその動機がわからない」「いままでの議会活動との比較した説明がほしい。この条例の中でいままでやってきたことは何パーセントくらいか、また、新たに条項として盛り込むことになったのは何パーセントか」「こんなに短い時間で策定しようとするのはどういうことか」「もともと市民の声をしっかりと聞いて盛り上げていく丁寧さが必要ではないか」「条例の検討している最中でも、請願の審査においては反対討論もしないで反対する事態が依然として続いている。今の議会運営に問題があるから制定するのか」「どこを変えようとしているのか伝わってこない」などの声が上がりました。

条例素案の内容については、質問が相次ぎました。

「市長との緊張関係とは何か。緊張関係というなら、市民との緊張関係の方が大事ではないか」「政策形成の流れの中で議長ポストをどう位置づけるのか」「議会事務局の機能強化とあるが、職員の人数を増やすのか増やさないのか。どういう機

能を強化するのか」「条例の見直しにあたって、議会だけの自主的な検証でいいのか。市民も参加して検証した方がいいのではないか」など、具体的な条項に関わる質問も次々と出されました。

4会場で出された市民の皆さんの声は厳しいものもありましたが、いずれも貴重なものばかりです。策定検討委員会では、お寄せいただいたご意見や提案を検討し、条例に生かしていくこととしています。



頸城区希望館にて